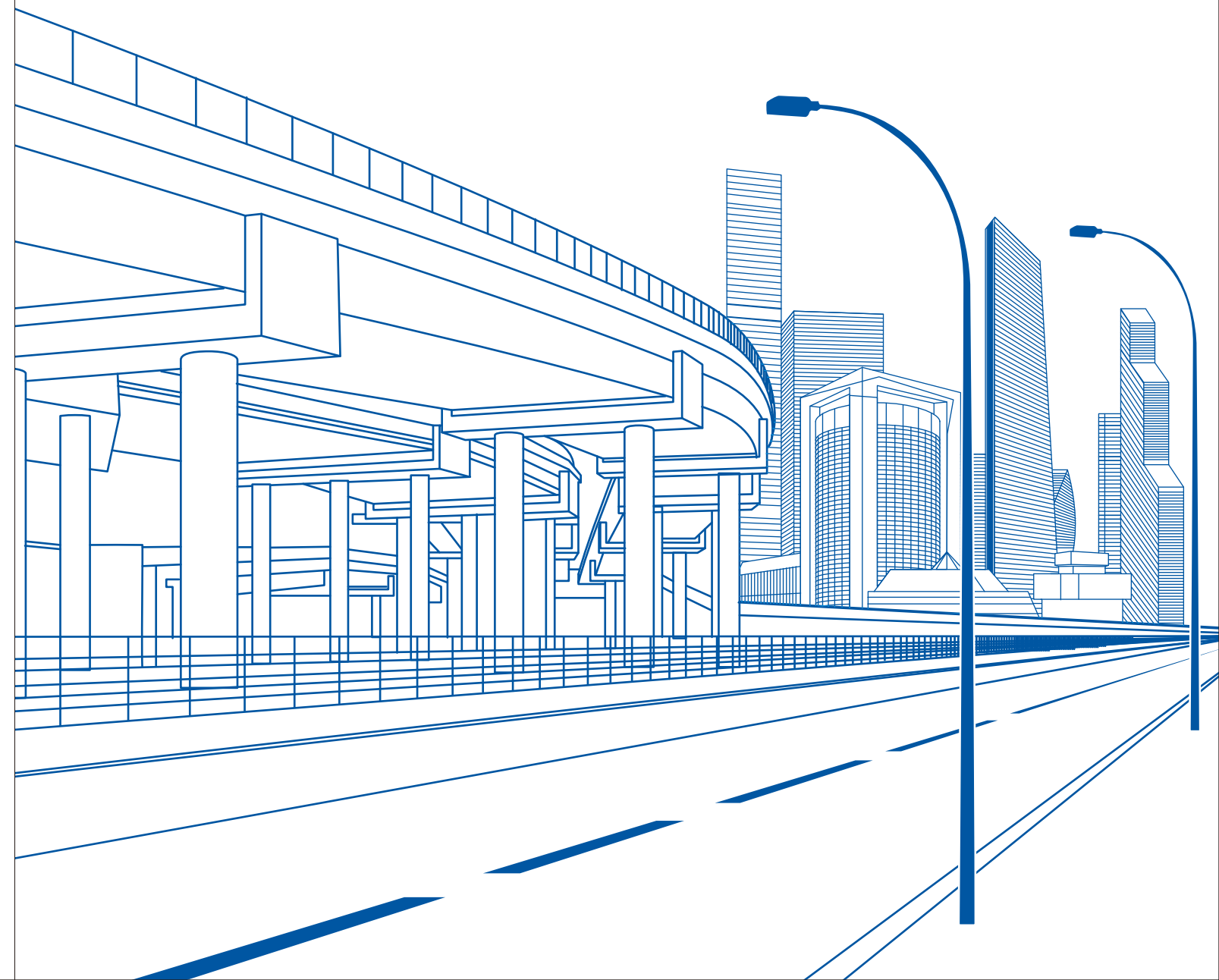


2021

CSR Report



東亜道路工業の企業理念

自らの意思と成長をもって、 人々の生活を足元から支える

東亜道路工業は創立より一貫して独立独歩の道を歩むとともに、

優れた個の力を結集し変革を恐れない自由な風土の元、

時代の要請に対応すべく進化を続ける

東亜スタイル“***TDA Style***”を貫いてきました。

私たちが実際につくるのは道路をはじめとする質量をもった「モノ」ですが、

そこに関わる全ての人々の生活基盤を支える役割を担っています。



SDGs経営

事業活動を通じて 社会的課題の解決を図る

環境との共生、環境負荷を低減する工法・製品の開発、様々な働き方や健康の追求、地域コミュニティを意識した活動等を通じて社会課題の解決に取り組み、持続可能な社会の構築に貢献していきます。

📄 「2021年3月期 決算説明資料」 <https://www.toadoro.co.jp/ir/>

共創のCSR

サステナブルな事業と職場を
社会と、社員とともに。

■ 報告の対象範囲ほか

報告対象組織 東亜道路工業株式会社 およびグループ企業

報告対象期間 2020年4月1日～2021年3月31日
※一部当該年度後の情報も掲載しております。

報告対象分野 環境・社会(社会的責任関連全般)

連絡先 CSR推進部 企業倫理推進室
〒106-0032 東京都港区六本木七丁目3番7号
TEL.03-3405-1811 FAX.03-3405-9800

INDEX

■ トップメッセージ	P3
■ データで見る東亜道路工業	P4
■ 特集01 環境と共生する	P5
■ 特集02 まちの未来づくりへ	P9
■ 特集03 コミュニティの一員として	P13
■ 寺田 明日香さん×東亜道路工業 「自己ベスト」「多様性と調和」「未来への継承」	P15
■ より安心で安全な職場へ (人権・労働慣行・労働における安全衛生)	P17
■ 誠実でクリアな企業づくりのために (コーポレートガバナンス・公正な事業慣行)	P20
■ 持続的な成長を目指して (品質向上のために・お客様アンケート)	P22
■ 関連会社のCSR	P23
■ ISO26000中核主題との対比表	P24
■ 第三者意見	P24
■ 一人ひとりのCSR	P25

挑戦・発想・実行で、 社会から選ばれ続ける 企業へ

代表取締役社長

森下 協一



はじめに

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）に感染されている方々及びそのご家族の皆様へ、この状況下不自由な暮らしを強いられている皆様へ、心よりお見舞い申し上げます。また感染拡大防止に向けて、最前線で困難に立ち向かっている医療従事者をはじめとするエッセンシャルワーカーの皆様へ、心から敬意を表し感謝申し上げます。

東亜道路工業グループは感染防止対策を徹底したうえで、新型コロナウイルス感染症の早期収束、及びその後の社会と経済の発展に貢献してまいります。

新中期経営計画

私たち東亜道路工業グループは、創立100周年を迎える2030年に向けて、「TOA ROAD Sustainable Plan 2023～挑戦・発想・実行で社会から選ばれ続ける企業に～」を2021年（5月）に策定しました。「自らの意思と成長をもって、人々の生活を足元から支える」という企業理念のもと、「変革への挑戦」「持続的成長の確立」を基本方針として、確固な収益基盤の構築、事業領域の拡大、技術開発の推進、DXの推進、エンゲージメントの向上、ガバナンスの強化など様々な施策を実行し、更なる企業価値向上と社会への貢献を目指してまいります。

TOA ROAD Sustainable Plan 2023 経営戦略(6つの柱)

- 1 確固な収益基盤の構築
- 2 事業領域の拡大
- 3 技術開発の推進
- 4 DXの推進
- 5 エンゲージメントの向上
- 6 ガバナンスの強化

SDGs達成のために

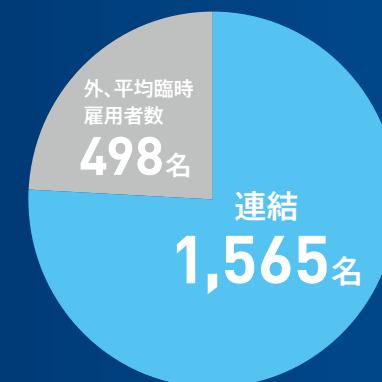
2015年に国連で採択されたSDGs（持続可能な開発目標）では、貧困、環境破壊、地球温暖化、人種差別、ジェンダー平等など広範な課題が挙げられ、その目標達成に向けて政府や自治体、教育機関、民間企業等様々な組織が取り組みを進めています。

当社グループは、次世代が求める世界の姿に真摯に向き合い、SDGsを社会に対する義務と捉えるのではなく、当社の企業活動を世界の問題解決につなげる好機と認識しております。だからこそ、中期経営計画の中でも「事業活動を通じて社会的課題の解決を図る」ことをSDGs経営の目標に掲げ、環境との共生、環境負荷を低減する工法・製品の開発、様々な働き方や健康の追求、地域コミュニティを意識した活動等を通じて、持続可能な社会の構築に貢献することを明示しました。

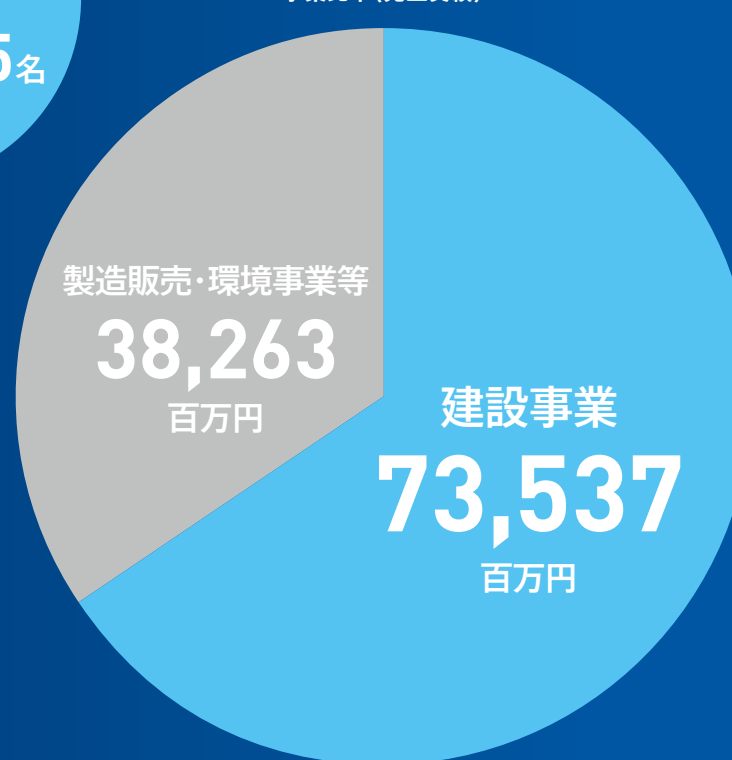
当社グループは、1930年の創立以来一貫して独立独歩の道を歩んでおります。この間、優れた個の力を結集し変革を恐れない自由な風土のもと、時代の要請に対応すべく進化を続ける東亜スタイル“**TOA Style**”を貫いてまいりました。今後さらに当社グループが貢献できる機会は拡大していくことでしょう。社会や経済がその仕組みを大きくシフトすべき岐路に立つ今、当社グループは社会に新たな価値を創造することを目指します。長年培ってきた技術力・製品開発力を背景に独自性を発揮し、カーボンニュートラルで安全・安心な社会の実現、サステナブルな社会の実現の一助になって共に発展する「社会から選ばれ続ける企業」となるために、一丸となって挑戦・発想・実行を進めてまいります。

データで見る東亜道路工業

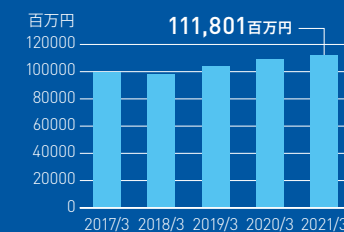
従業員数



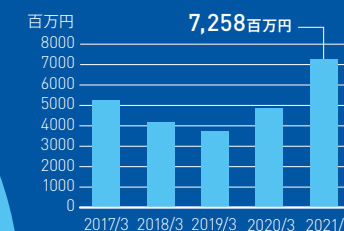
事業比率(売上実績)



売上高(連結)



経常利益(連結)



会社概要 (2021年11月30日現在)

社名	東亜道路工業株式会社
本社所在地	TOA ROAD CORPORATION 〒106-0032 東京都港区六本木七丁目3番7号
資本金	75億8,418万円
建設業者許可番号	国土交通大臣(特-1)第3226号
宅地建物取引業免許	東京都知事(12)第33430号
建設コンサルタント	国土交通大臣 建28第3788号
建築士事務所登録登録	一級 東京都知事第57907号
測量業者登録	国土交通大臣 第(2)34128号
役員	代表取締役社長 森下 協一 代表取締役専務執行役員 堀之内 悟 取締役常務執行役員 中村 浩 取締役常務執行役員 福原 静夫 取締役 楠美 雅堂 取締役 田原 裕子 取締役 高田 洋平 常勤監査役 森 信一 監査役 藤田 浩司 専務執行役員 池田 道政 常務執行役員 松村 高志 執行役員 緒方 秀二 執行役員 浅井 敏夫 執行役員 大竹 哲也 執行役員 村山 雅人 執行役員 仲村 直規 執行役員 梶岡 聡 執行役員 田光 剛 執行役員 竹内 良彦 執行役員 杉崎 匡孝 執行役員 松浦 壽彦 執行役員 新谷 章 執行役員 野田 雅之 執行役員 岩佐 次弘 執行役員 大竹 和彦 執行役員 河西 誠 執行役員 吉田 和博

事業所数

支社	北海道支社・東北支社・関東支社・中部支社・関西支社・中四国支社・九州支社
支店	宮城支店・東京支店・横浜支店・千葉支店・茨城支店・北関東支店・北陸支店・中京支店・四国支店
営業所	35営業所
技術研究所	1ヶ所
製品工場	24工場
合材工場	45工場
関係会社	26社



環境と共生する

東亜道路工業グループは、環境との共生をミッションとして、あらゆる事業活動での省資源化・CO₂排出量削減に取り組んでいます。
また、経営戦略において下記の目標を掲げ、環境負荷を低減する工法・製品の開発・普及を行っています。

技術開発 の推進

環境に配慮した舗装技術

- カーボンニュートラルに資する中温・常温技術の開発、普及
- 石油由来資源に替わる新材料の開発

道路インフラの長寿命化技術

- 超重交通路線におけるLCCに優れた高耐久アスファルト混合物の開発、普及
- 舗装や橋梁等、インフラの予防的保全技術(点検・維持等)の開発、普及

次世代の技術へ

2021年度～2023年度中期経営計画より抜粋



仙台駅前青葉通り
(パーミバインダーHD-ECO)

中温化技術を用いた施工。従来より30℃程度低い温度でアスファルト混合が可能。製造時のエネルギー消費量を約15%抑える上、再生材(再生アスファルト混合物)の活用を容易にします。積雪寒冷地域において冬季施工における施工時の品質保持に効果的に働き、長寿命化を促します。



環境負荷低減への継続的な挑戦

環境に配慮した舗装技術



植物由来の舗装材料「HSバインダー」、プレミックス方式による対応力アップで脱アスファルトに前進。

「HSバインダー」は、バイオマス度87%の植物由来油(HS添加材)をアスファルトに配合した環境にやさしい舗装材料です。高い耐久性と耐油性を有するアスファルト合材「HSアスコン」として、重交通路線の交差点やコンテナヤード、ロジスティクスセンターなどに積極的な販売・提案を進めてきました。

これまでに、全国で413,579㎡を施工。環境意識の高まりを追い風に認知度は高まっており、官民を問わず舗設エリアを拡げています。また2020年には、従来のプラントミックス方式に加え、専用工場でHSバインダーを溶かし込むプレミックス方式での供給を開始。製造時のリスクを軽減して品質を向上させるとともに、大規模工事への対応力を高めました。今後さらなる積極提案・販売促進に努め、「アスファルトを使わない舗装」の可能性を追求してまいります。

道路インフラの長寿命化技術

橋梁の長寿命化への取り組み

全国には道路橋が約72万橋あり、建設後50年を経過する橋梁の割合は約30%にのぼります。老朽化に伴う変状が顕在化する前に適切なタイミングで維持管理を行い、橋梁を延命化することが求められています。当社では、道路橋床版の健全性を評価する方法の研究や、効果的に床版を保護する材料・工法の開発に取り組んでいます。



当社が開発した製品・工法の一例

CAMシールNEOプラス

コンクリート舗装の橋梁を対象とした表面処理工法です。浸透プライマーがコンクリート舗装表面の微細なひび割れに浸透することで防水層を形成し、さらに薄層の表面処理材を施工することで、すべり抵抗性などの路面機能を改善します。厚さ数ミリの施工で効果を発揮する、経済性に優れた補修工法です。

タフシールプラス

アスファルト舗装の橋梁を対象とした複合防水工法です。浸透プライマーを床版の微細なひび割れに浸透・充填させ、そのうえに塗膜型改質アスファルト系防水材料を塗布して、床版内への雨水等の浸透を防ぎます。

01 特集 [Creating Shared Value]

環境と共生する

2020年度の環境目標に関する報告

CO₂排出量の削減

2020年度実績 **1.4%** 削減

前年度45,847t-CO₂から45,209t-CO₂に削減しています。



エネルギー使用量の削減(原単位)

オフィス 事務所業務における省エネルギー促進

2020年度実績 昨年比 **110.0%**

製品 昨年比 **86.6%**

合材 昨年比 **97.8%**

工場(製造) 電力使用量(2017年度比)原単位**3.0%/t**削減へ

製品 2020年度使用量 達成率 **106.1%**

合材 2020年度使用量 達成率 **87.4%**

改正省エネ法の求める「年平均1%以上のエネルギー消費原単位の低減」を達成すべく、中長期計画を策定し省エネに取り組んでいます。今年度は、エネルギー消費量の多い工場の削減を実現しています。

フロンガス排出抑制

漏洩量 **25t-CO₂**

空調機器等の、法定頻度での点検を実施しています。
※1,000t-CO₂未満は報告義務はありません。

環境配慮型工法・製品のPR・販売

工事営業 計画受注件数の80%以上へ

2020年度環境配慮型工法受注件数

422件 計画の**97.2%**

環境配慮型工法の積極的な設計営業に取り組んでいます。

製品営業 2020年度目標 **29,383t**

2020年度環境配慮型製品販売量

33,460t 達成率 **114%**

北海道支社・東北支社ではそれぞれ目標達成率224%、159%を達成しました。また、全社的に環境配慮型製品の積極的な販売に注力しています。

建設機械のCO₂発生削減のためにICT施工活用

工事 ICT活用件数(前年度比)20%UP

2020年度ICT活用件数

79件 達成率 **117.6%**

前年度を大きく上回る結果となりました。今後さらに普及を図っていきます。



資源の再利用率

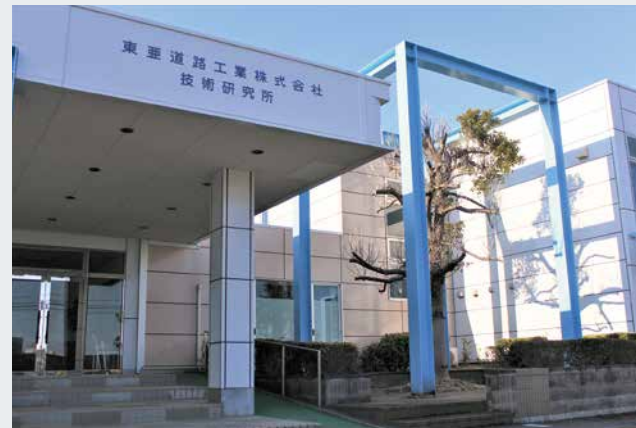
再生アスファルト合材の製造比率

再生資材の混入比率(全体に対して)

70.7% **41.3%**

再生アスファルト合材とは、アスファルト塊を回収・処理した再生骨材を、新しいアスファルト合材と混ぜ合わせたものです。合材工場では、積極的にアスファルト塊を受け入れ、ほぼ100%再利用しています。

次世代の技術へ



技術の開発・検証と継承を担う
日本有数の舗装・アスファルトの研究機関
「東亜道路工業 技術研究所」。

東亜道路工業の技術研究所は昭和25年5月に開設され、70年にわたり道路舗装やアスファルトに関する試験・分析等を行ってきた、国内有数の研究機関です。土木・建設と化学の視点の両輪から道路舗装のイノベーションに取り組み、独自性に富んだアスファルト製品・舗装工法を開発してきました。次世代技術を切り拓く役割であることはもちろん、知の資産を蓄積・検証し、次世代を担う人材へと継承する役割も果たしています。

製品開発

道路舗装材料の他、鉄道用やスポーツ関連施設用など、幅広いユーザーの様々なニーズに適応する製品の研究開発を行っています。

工法開発・調査試験

道路舗装に関する数多くの調査機器を有し、技術開発の成果を調査し、適切に評価することで新たな技術の礎を築いています。

基礎研究・情報発信

業界をリードする技術・知識の拠点として積極的に基礎研究を行い、社内外へ情報発信しています。

環境マネジメントシステム

環境基本方針

社会の持続的な発展のためには環境保全(汚染の予防)や省資源のための活動が重要である。当社はそれらの活動を基本的なことから位置づけ、その環境方針を以下に定める。

- ① 当社は事業活動を進めるにあたって、省エネ・省資源活動や建設副産物の適正処理に努め、環境負荷の軽減を図り、環境の保全に寄与する。
- ② さらに、環境に配慮した舗装材料・工法の技術開発を推進するとともに、それらの製品・工法の普及に努める。
- ③ 事業活動を進める中で、環境関連の法規制・地域住民との協定など環境保全のために必要とされる事項を遵守する。
- ④ 以上のことを踏まえた環境マネジメントシステムを整備し、その継続的改善を図る。
- ⑤ この環境方針を社員に周知し、環境意識の向上を図ると共に、一般に公開する。

ISO14001認証

ISO14001の全社認証を2008年12月に取得。環境マネジメントシステムを活用して、環境問題に取り組んでおります。

まちの未来づくりへ

当社はインフラの構築・運営を担う企業として、交通環境の安全や舗装の技術改善を追求し続けています。また、次世代人材の育成、健康と夢を育むスポーツ振興をはじめ、様々なかたちでまちの未来づくりに貢献しています。2020年度からは官民連携事業にも参画しはじめ、2021年度中期経営計画達成への布石としています。

事業領域の拡大

官民連携事業 (PPP/PFI)

事業地域の拡大

新規分野へ

- 豊富な地域ネットワークの活用による企業間連携
- 当社が培ってきたノウハウの活用 (公園リニューアル・学校跡地利用・道の駅・コンセッション)
- 海外事業の推進
- M & A/アライアンス戦略の推進
- 保有技術の他分野への展開
- 異業種との協創による新たな価値の創造

2021年度～2023年度中期経営計画より抜粋



富士見市びん沼自然公園整備工事 (設計・施工) 完成イメージ図



利用イメージ

官民連携事業

官民・地域連携プラットフォームへの参加

当社の技術・ノウハウ・アイデアを公共施設の整備・運営に活かして、地域活性化と持続可能な社会づくりに貢献。

東亜道路工業グループは、2021年度からの中期経営計画において「官民連携事業」への事業領域拡大を明示しました。これに先駆け、2020年度には複数の官民連携プロジェクトを受託しています。当社が描くそれぞれの公園整備・運営のビジョンには、当社が道路や景観・スポーツ施設の分野で培ってきた技術とノウハウはもちろん、地域への深い理解と柔軟な発想から生まれるアイデアが凝縮されています。自然と地域とが調和し、地域の人々とともに成長させていく公共施設の理想像を具現化するものであり、「事業活動を通じて社会的課題の解決を図る」理念の体现です。



富士見市びん沼自然公園整備工事 (設計・施工) 完成イメージ図

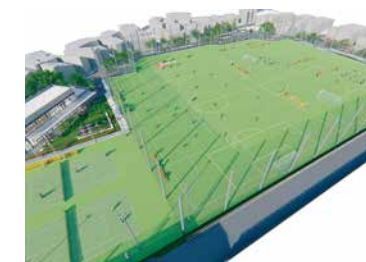
東亜道路工業グループが参画する公共施設整備・運営の一例



埼玉県富士見市

富士見市びん沼自然公園整備工事 (設計・施工)

富士山を望む展望台と一体化した大型遊具、三世代が楽しめるパークゴルフ場などで魅力を増し、地域住民が参加できる仕組みも創出。治水や既存の自然にも配慮した公園。



東京都豊島区

旧第十中学校跡地への野外スポーツ施設整備・管理運営事業

学校跡地の利活用を望む地域の声を受け、サッカーフィールドとテニスコートの複合施設を提案。ラグビー・フットサル・陸上競技も可能な設計に当社のノウハウが活かしています。



千葉県香取市

橋ふれあい公園整備・管理運営事業

子育て世代の支援、幅広い年代の交流と健康増進を目的としたリニューアル。約6haのエリアに、アウトドアゾーン・多目的広場・パークゴルフ場などを整備する計画です。

02 特集 [Creating Shared Value]

まちの未来づくりへ

安心・安全に暮らすことができる社会資本の整備



雨でも滑らず水はねを抑制する道路への リニューアルを容易にする「POSMAC-ST」を開発

既設舗装の上に、粒度の粗いアスファルト混合物を重ねる「POSMAC-ST」は、雨天時でも滑りにくく、水はねを抑制します。反射が抑えられることで路面が見やすくなり、安全に走行できる舗装です。路面の切削を必要とせず、乳剤散布装置付きアスファルトフィニッシャーで一気に施工するため、短い施工時間で舗装をリニューアルできます。また、多量にアスファルト乳剤を散布することで薄層舗装の弱点となりやすい層間剥離やズレを回避。さらに雨水等から既設舗装を保護することにより、長寿命化の効果も期待されます。

次世代人材の育成



兵庫工業高等学校出前授業



明石工業高等専門学校インターンシップ



沼津工業高等学校都市環境工学科
現場見学会



神戸市立工業高等専門学校
インターンシップ

地域の教育機関への学習協力・サポート

子ども達の道路への興味を喚起し、次世代の舗装技術者を育成する観点から、様々な教育機関での学習協力・サポートなどを積極的に行っています。

また、技術を学ぶ学生に向けたインターンシップや技術講習・実習等の機会を設け、就業に必要な技能を体感していただきながら、仕事選びや将来設計の一助とすることを目指しています。

- 東北支社：仙台市立仙台工業高等学校の建設技術授業にサポート参加（毎週）、岩手県立久慈工業高等学校創立40周年協賛
- 関東支社：駒澤大学教育研究振興募金寄付
- 中部支社：静岡県立沼津工業高等学校都市環境工学科 現場見学会、日本福祉大学後援会活動への協賛
- 関西支社：兵庫県立兵庫工業高等学校への出前授業、神戸市立工業高等専門学校インターンシップ、(独法)国立高等専門学校機構 明石工業高等専門学校インターンシップ
- 中四国支社：広島県立広島工業高等学校へ東亜道路工業の魅力を伝えることを目的とした出前授業
- 九州支社：熊本県立玉名工業高等学校舗装工事実習
- 技術研究所：日本大学理工学部交通システム工学科技術講習、長岡技術科学大学環境社会基盤工学課程技能実習

スポーツ振興

スポーツはいま市民生活に浸透し、競技の場であるだけでなく、憩いと社会活動の場になっています。当社はスポーツ施設の基本構想から設計・施工、運用サポートにまで対応。提案力・技術力・製品力で、あらゆる競技に求められる性能や施設の目的に応え、スポーツの振興を後押ししています。



国立競技場(2019年/スタジアム地下舗装)



高円宮記念JFA夢フィールド(2020年開場)



成蹊学園けやきグラウンド(2021年)



女川町民野球場(2021年)



陸前高田市高田松原運動公園第一野球場(2020年)



東大阪市立ウィルチェアスポーツコート(2020年)

地域のスポーツイベント等への協力・協賛

- 本社：JFAユメセン支援、アスリート支援(平尾裕希)、埼玉西武ライオンズ 協賛
- 東北支社：J3福島ユナイテッドFCサポートコレクション、ビジネスマッチ東北2020協賛、J3福島ユナイテッドFC応援うちわ・ホームゲーム・最終戦広告協賛、福島県テニス協会広告、福島県体育協会賛助会員、東北社会人リーグ1部コバルト・レ女川サポートコーポレーション、福島民報マッチデー協賛、2020北海道・東北パラ陸上競技選手権後援、第9回福島復興・復興祈念ユースサッカー大会協賛、学校法人石川高等学校陸上部 全国高等学校駅伝競走大会出場活動協賛、学校法人石川高等学校サッカー部全国高校サッカー選手権大会活動協賛、学校法人東奥義塾 サッカー・ラグビー場バナー広告、J2ブラウブリッツ秋田の大型映像装置スポンサー、秋田サッカー協会HPバナー広告、女川町 町民野球場復旧・改修工事完成記念屋外ベンチ10基寄贈、J2 モンテディオ山形応援うちわ協賛、TOAチャレンジカップ国際大会主催
- 関東支社：千葉日本オープンゴルフ広告協賛、学校法人君津学園 清和大学グラウンド砂寄附、学校法人城西大学 首都大学野球公式ガイドブック広告協賛、川崎競輪場照明タワー広告協賛、群馬伊勢崎硬建クラブ(硬式野球チーム) 協賛、「鹿島学園高等学校サッカー部を応援する会」寄付、京王閣競輪場バンクフェンス広告協賛、公益財団法人 茨城県体育協会賛助会員寄付
- 北陸支店：新発田市総合型地域スポーツクラブ協賛「認定NPO法人とらい夢」、新潟市秋葉区スポーツ協会賛助会員、(公財)新潟県スポーツ協会賛助会員、荒川地区体育協会・荒川地区スポーツ少年団賛助会員
- 中部支社：J1名古屋グランパス後援会活動、三重県サッカー協会広告協賛、キッズサッカーフェスタ2021協賛、愛知県サッカー協会スマートフットボールセンター整備寄付、岐阜県サッカー協会バナー広告、東海市観光協会のシティマラソン事業・イルミネーション事業への協賛
- 関西支社：セレッソ大阪堺レディーススポンサー、大阪府サッカー協会「ACTION FOR DREAM」協賛、大学スポーツコンソーシアム KANSAI「KCAA」協賛、関西オープンゴルフ協賛
- 中四国支社：鳥取県陸上競技協会 広告協賛、鳥取陸上競技協会協賛



JYD Greenproject Partner

当社は、公益財団法人日本サッカー協会(JFA)のJFA Youth & Development Greenproject Partnerです。「JFAグリーンプロジェクト」への協賛を通して、子どもたちの外遊びを促し、地域コミュニティの場となり得る「学校や公共のグラウンドの芝生化」推進を支援しています。

コミュニティの一員として

当社は全国各地に100を超える支店・営業所・工場を展開しています。それぞれ拠点が地域の住民で住人であり、良き市民企業として、地域との共生・共栄を図るべきとの考えから、地域に根ざした「1事業所で1つの社会貢献」をミッションとして活動を行っています。

国際社会への貢献



©Mayumi Rui

レッドカップキャンペーン参加 (コールドパーミックス)

東亜道路工業株式会社は、2020年11月1日より国際連合世界食糧計画WFP協会が主催する「レッドカップキャンペーン」へ参加しています。当社製品「コールドパーミックス」1袋につき10円が、飢餓に苦しむ途上国の子どもたちの学校給食支援に使われます。「学校給食プログラム」は子どもたちの栄養状態を改善するだけでなく、教育の機会を広げ、未来を拓けることに貢献する活動です。

※コールドパーミックスは、持続可能な開発目標の一環として、アスファルト以外の添加物をすべて植物由来の材料に置き換えました。



ライフラインを守る取り組み

災害時支援



災害時、道路や空港は避難や救護、物資輸送をするための重要なルートになります。当社では各自治体と「災害時支援協定」を結ぶなど、災害が発生した際、道路の復旧に向けた活動を最優先し、迅速に対応することとしています。

道路の復旧・復興への協力

- 九州支社：令和2年7月豪雨における復旧作業

交通の安全と、道路を守る取り組み

道路補修・整備、除雪活動、交通安全の啓発



共和町前田地区除雪ボランティア

- 北海道支社：ニセコ町学習交流センター前広場舗装整備、雄武町地域交流センター駐車場整備、喜茂別町農村環境改善センター内駐車場区画線整備、共和町前田地区社会福祉施設2箇所除雪ボランティア
- 東北支社：2020年度R13維持工事、国土交通省の依頼を受けて除雪車を横手市へ搬送
- 中部支社：名古屋市緑警察署交通安全推進活動(毎週月曜日)

道路愛護活動・清掃ボランティアを実施



喜茂別町鈴川小学校草刈りボランティア

安全・快適な道路環境を守るため、清掃活動や地域参加、啓蒙活動などを行っています。

- 北海道支社：札幌市東区まち美化プログラム活動(1回/月)、喜茂別町鈴川小学校草刈りボランティア、札幌営業所近隣市道の道路清掃(1回/月)
- 東北支社：久慈港諏訪下地区及び半崎地区清掃活動、盛岡市愛宕町内清掃活動、10年以上にわたりR13河辺町の植樹帯2箇所に花を植え管理、仙台おもてなし花壇スポンサー、仙台市まち美化サポート運動(1回/月)、宮城県スマイルロードプログラム(6回/年)
- 中部支社：岐阜各務原市周辺清掃(1回/月)・岡崎アスコン前面道路の清掃(毎週金曜日)
- 中四国支社：「ハートフルしまね」島根県公共土木施設愛護ボランティア
- 技術研究所：清掃活動



「ハートフルしまね」島根県公共土木施設愛護ボランティア

寄付・募金

- 関東支社：日本赤十字活動資金協力、赤い羽根共同基金運動寄付



「自己ベスト」「多様性と調和」 「未来への継承」

21年ぶりの快挙を成し遂げたアスリートと、国立競技場建設に携わった当社社員が、東京五輪のテーマを語る。



技術研究所
曲 慧
きよく

GUEST
寺田 明日香 さん
東京オリンピック 女子100mハードルに出場し、
21年ぶりの準決勝出場を果たしたアスリート。
日本記録保持者、プライベートでは母親であり、7人
制ラグビー選手として五輪出場を目指した経験も。

建設事業本部 企画開発部
征矢 有梨佳
そや

関東支社 東京支店
尾後 陽輔
おご

東京オリンピックと国立競技場

Q 国立競技場の基盤工事は当社が舗装したもので、現場は尾後が担当したんですが、寺田さん、いかがでしたか？

寺田 すごく走りやすかったです。表面の素材が同じでも、競技場によってはスパイクの感覚がサクサクしたりするんですが、今回の国立競技場はすごい走りやすかった。世界記録も数多く出ましたしね。

尾後 オリンピックが1年延期になって、劣化を心配してたんです。

寺田 全然なかったですよ。

征矢 どんな路面が良いんですか？

寺田 タイムが出やすいのは反発が返ってくる硬い素材です。柔らかいと足に優しいけど、反発は遅いんです。風の影響やスパイクとの相性もあるので、スパイクやピンを変

えるなどで調整します。選手が使えるのはスパイクと自分の体だけなので。

Q 足から伝わる感覚を分析して、コントロールされているんですね。尾後さん、施工上で工夫したことはありますか？

尾後 気をつけたのは「平坦性」です。トラックは基盤に凸凹があると表層に大きく影響します。通常は舗装のジョイント部が段差になるんですが、今回は合材が熱いうちに複数の車輛を並走させるなどして継ぎ目をなくしました。また、情報化施工で高さを正確に調整しています。

寺田 すごいんですね。今回のオリンピックは、コロナ等で風当たりが強い時期もあったって、選手は色んな思いを持って参加しました。でも多くの方が関わって実現したわけだし、自国でなければ経験できないことも

あった。やっぱり良かったなと思います。

それぞれの自己ベスト

Q アスリートは、常に記録を求められますよね。プレッシャーではないですか？

寺田 自分の目標値がより高いところにあるので、プレッシャーはあまり感じないんです。東京五輪は最大の目標が決勝進出。叶わなかったですが、目指しているからには、



日本記録を出しても、ランキングが上がっても、ひたすら積み上げていくしかないんです。日々の目標があり、その積み重ねの先に大きな目標があるので、過程で起きることもすごく大事にしています。

Q 高い目標を追い結果を出すという意味で、社員のみなさんはいかがですか？

曲 研究者は、他人がやっていないことをする、最先端を走ることが目標です。でも、最先端と「生活の役に立つこと」にギャップがあることも多いんです。それを両立できるから、私は東亜道路工業を選びました。例えば長寿命だったり、修繕が簡単だったり、カーボンニュートラルもですね。アスファルトは石油からできるものですが、私が開発しているのは植物を使ったバイオマス80%の舗装材です。国際学会での評価も高く、ちょっと自慢なんです。



尾後 現場は逆に短期間で結果が出ます。納めたものが結果なんですよ。それでお客様や使う方に喜んでいただくことが目標です。現場は1～2年で完成しますから、その都度結果が出るのは魅力でもありますね。そのために協力会社を含めたチームをまとめるのが施工管理。外国の方もいらっしゃるし、年齢も20代から70代と幅広いので、コミュニケーションも楽しいです。

多様性と調和

Q オリンピックのテーマが「多様性と調和」でした。寺田さん、今回、多様性を感じるタイミングはありましたか？

寺田 そうですね…オリンピックを通して沢山の人が色々なことを感じ、人との違いをどう認めるかが光ったオリンピックだったと思います。意見が違ふ時、そこをどう埋めるか、違いや立場を認め合えばいいなと思っていました。人種や国籍に関しては、私は自分からはフィルターをかけないようにしています。知りたいことがあったら、ひる

まず聞きに行く(笑)。「人見知りさせない」こともモットーなんです。

Q 素敵です。曲さんは中国出身ですが、多様性についてどうお考えですか？

曲 最初に留学生として来た頃は、「外国に来た」と緊張しました。でも相手も「外国人が来た」と思っているの、一緒なんです。聞きたい時には全身を使って伝えました。言葉が駄目なら、漢字や動きを使う。日本語もとにかく話して覚えました。でも、今は、自分を外国の人と考える方が楽。日本で結婚して、学位をとって、子ども産んで、就職して、普通に生活してますから。

尾後 一緒に働いていると、人種や性別は関係ないですね。特性が違ったり言葉の問題はありますが、みんな真面目だし、経験を積み上げることができるようになります。

Q 多様性をうまく調和させるためにされていることはありますか？

尾後 ちょっとした気遣いや声掛けをして、わからないことを聞いてもらいやすい雰囲気をつくることでしょうか。



征矢 女性の現場監督は、私の同期以降毎年入ってきています。採用担当者によれば、女性の志望は結構多いみたいです。一方で大変なこともあるようで、男性に聞くと、女性の後輩は気遣ってあげないと、自分から大変とは言わないし、熱中症予防に水を飲むように言っても「トイレに行けないから」と躊躇するそうです。今後老若男女問わずに話し合える場があると良い気がします。問題は徐々に浮き彫りになっていくものですが、言わないと何が問題か分からないでしょうし、先輩がどういう思いで指導してくれているかを知らないまま、若手が「会社が駄目」と辞めてしまうのも残念です。当社は製品を開発するメーカーであり、舗装工事会社であり、設計、営業、研究など色んな顔を持つ人がいます。色んな経験を持つ人達が混じれるのが長所だと思うんです。

寺田 みんな自分のスタンダードがあるとと思うんですけど、色んなスタンダードを持つておかなきゃいけないのが今の時代なのかなと思いますね。

征矢 「色んなスタンダード」って素敵ですね。私も使っていこう。



未来への継承

Q さて今後、後進を育て、技術を未来に伝えるために、みなさんがやっていきたいことを教えてください。

征矢 当社の技術が詰まった街や展示場があればいいなと、夢みたくことを考えています。新技術も、日本で最初に当社が作った製品も実は数多くありますから。

曲 いいですね(笑)。今、業界に若手が足りないという問題がありますが、技術を見せて、土木には夢があると言える場所があったら良いじゃないですか。

寺田 どの分野も好きになってもらうことが一番ですし、やりがいや魅力を伝えていけるのは、今現場にいる人たちだと思います。どれだけの子どもたちに好きになってもらえるかは大きいですよ。魅力がある、やってみたいと思ってもらえるのはスポーツ選手の良い部分ですが、半面、続けるための場所や環境はもっと整えなきゃいけない。子どもを産んだあともアスリートをするには、足りない部分がまだまだたくさんあります。

Q 「好きになってもらうための働きかけ」とはどんなことだと思われますか？

寺田 自分が一生懸命、楽しくやっている姿を見てもらうのが一番近いと思います。

征矢 私も就職活動中、先輩たちが「仕事はまだまだだけど、こういうことがやりたいんだ」ってキラキラしていたのが印象的で、入社を決めたんです。確かに楽しんでいる人には、ついていきたくなります。

寺田 根底に「楽しい」があれば、つらい時に超えるモチベーションにもなります。
良いお話でした。ありがとうございました。

より安心で安全な職場へ



人権・労働慣行

人権について(基本方針)

東亜道路工業グループでは、国籍、年齢、性別、障がいの有無などに関わらず、すべての人の尊厳が守られ可能性が発揮できる企業を目指し、人権と人格を尊重する取り組みを推進しています。

- 人権と人格を尊重し、不当な差別や各種ハラスメントを排除して、公正な処遇がされる職場環境をつくります。
- 心身ともに健康で、安全で安心していきいきと働くことができる職場環境を築きます。
- ダイバーシティを推進し、すべての人が率直に意見や行動を認めさせるよう、お互いの考え方や立場を尊重し、自由闊達で風通しの良い職場風土の醸成に努めます。
- 一人ひとりが仕事に誇りと責任を持ち、個性を発揮しながら自主的に目標にチャレンジし、自身の成長とともに、ゆとりと豊かさを実現できる活力ある企業グループを目指します。

アクションプログラム

2024年度を計画達成の最終年度とし、段階的に4週8休を実現する。

	工事/製品
2018年度	4週5閉所60%以上 達成
2019年度	対象事業所の100%が4週4閉所の実施 達成
2020年度	4週6閉所60%以上 達成
2021年度	対象事業所の100%が4週6閉所の実施
2022年度	4週7閉所70%以上
2023年度	対象事業所の100%が4週7閉所の実施
2024年度	対象事業所の100%が4週8閉所の実施

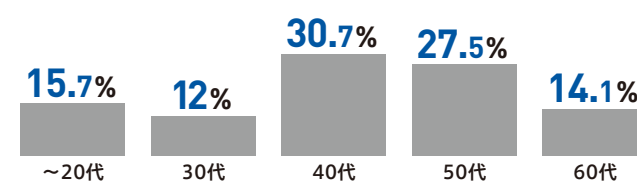
具体的施策

- 適正な工期の設定
- 工期ダンピングの排除
- 下請契約の取組み
- 協力業者への周知・要請
- 給料体系の見直し
- 生産性向上
- 就業時間管理のシステム化
- 閉所実績確認・指導

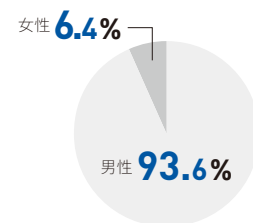
ダイバーシティ & インクルージョン

当社は、多様な人材がいきいきと活躍できる自由闊達な企業風土を目指しています。

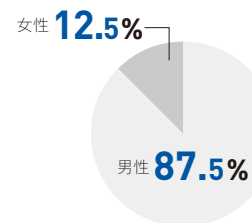
年齢構成



男女比



採用における男女比



再雇用制度利用者

176名

障がいのある社員

16名 2.15%

外国籍の社員

2名

すべての従業員にスキルアップの機会を

入社時から管理職に至るまで、段階的あるいは専門特化した様々な研修機会を用意しています。モチベーションアップのための資格取得支援制度の他、技術研究所で独自に英語力レベルアップの助成制度を設けるなど、ユニークな取り組みを進めています。

女性が活躍できる職場へ

女性工事課員採用や管理職への登用を積極的に進めるなど、ジェンダーの格差なく活躍できる職場づくりに取り組んでいます。

障がい者の雇用

障がいのある方も、それぞれの条件に応じたワークスタイルで働き、やりがいを得られる職場環境づくりに努めています。

再雇用制度・高齢者の雇用

従業員の希望があれば定年退職後も技術や経験を活かして活躍できるよう、再雇用制度を設けています。また、高齢者の社会参加を促進する観点から、現場や工場の軽作業に高齢者雇用を進めています。各事業所において、豊富な知識と経験を基に積算業務、施工管理、安全管理等について教育・指導を行っています。

ワークライフバランスの向上

休日取得の推進・奨励、残業時間の縮減

「就業情報システム」において本社総務部が従業員の勤務実績や時間外労働の状況を把握するとともに、ノー残業デーの注意喚起による残業時間削減や有給休暇取得率の向上を促進しています。2024年度を最終年度とするアクションプログラムを遂行し、2020年度は全事業所の4週6閉所60%を実現しています。

土曜連休取得率

平均
33.6%



有給休暇取得率

47.1%

※平均取得日数 8.9日/人



時間外労働時間

平均
344時間/年



多彩な休暇制度

多彩な休暇制度を設け、社員の、公私にわたる生き生きとした生活を応援しています。(下記は休暇制度の一例です。)

ボランティア
休暇

裁判員制度に
関する休暇

災害休暇

リフレッシュ
特別休暇
(勤続10年/25年社員)

育児休業・介護休業取得の奨励

当社は、ライフステージが変わっても働き続けやすい会社であるために、育児休業制度の周知と利用の奨励に取り組んでいます。

育児休業取得後の復職者

100%

(育児休業取得者2名中)

介護休業を取得した社員

0名

労使関係の維持

社員による労働組合を組織し、会社との情報共有や労使一体での課題解決を積極的に行っています。

本部では年2回、労働組合と企業による「労使懇談会」を実施し、建設的な意見交換をしております。2020年度は、8月と3月に実施。各支社においても「地方労使懇談会」を設置し、8支部それぞれ年1回ずつの会合を行っています。さらに、経営層と社員との間で、「意見交換会」を行い、会社の目指す方向を理解し、社員一人ひとりが経験や能力を最大限に発揮できる環境づくりを目指していますが、2020年度はコロナ感染症予防の観点から実施を見送りました。

従業員の健康推進

会社が健全な成長を続け理念実現に向かうためには、全従業員とその家族の心身の健康が大前提であると考え、様々な健康推進施策を行っています。

健康診断・ストレスチェックの実施

全社員に対して、健康診断とメンタルヘルスクアを実施しています。積極的な働きかけにより、健康診断受診率は100%を達成しています。メンタルヘルスクアについては、全社員を対象にストレスチェックを行い、社員本人にその結果を通知して自らの状況に気づきを促し、不調のリスクを低減させます。また、結果を集团的に分析し、職場環境の改善につなげています。



やりがいの創出

- 自己申告書提出による適正配置と能力開発(1回/年)
- 資格取得支援制度、有資格者に対する手当支給
- 英語力レベルアップの助成制度(技術研究所)

ハラスメントの防止に関する規程

ハラスメントのない職場を構築するため、「ハラスメントの防止に関する規程」の整備・運用を行い、発生を予防しています。発生した場合は、公益通報窓口を通して相談等を受けておりますが、相談件数は年々減少しています。

労働における安全衛生

当社は、建設業労働安全衛生マネジメントシステムを導入し、システム運用にかかる従業員の職務、責任および権限を明確化、明文化するとともに、PDCAサイクルを回し、安全衛生水準を自主的・継続的に向上させることに取り組んでいます。

管理目標

- 死亡災害ゼロ(リスクレベルⅣ)
- 重機災害ゼロ(リスクレベルⅢ・Ⅳ)
- 墜落転落災害ゼロ(リスクレベルⅢ・Ⅳ)
- 土砂崩壊災害ゼロ(リスクレベルⅢ・Ⅳ)
- 労働災害の発生件数を2017年比15%低減(13件以下)
- 交通災害事故の発生件数を2017年比15%低減(20件以下)

安全衛生大会

各店社・事業所毎に、年1回「安全衛生大会」を開催し、管理方針や計画などの周知と、現場作業所・協力会社などの表彰を行っています。

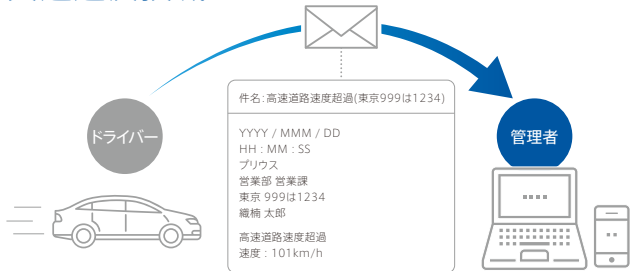
安全にかかわる教育研修、指導

大会の中で災害防止協会の「安全衛生講習」を行うほか、職長等教育・特別教育など研修を行い、現場への安全の徹底と災害防止を図っています。また、コスモス労働安全衛生マネジメントシステムを導入し、レベルアップを図っています。

下記は昨年行った研修の一例です。

- 熱中症予防指導員研修
- 職長等教育
- 安全衛生推進者教育
- 各種特別教育
- 救急救命講習
- 役員による安全パトロール(年1回以上)
- 店社安全パトロール(月1回以上)
- 安全衛生システム会議(月1回／各部署)
- 避難訓練
- 工場の油分流出時緊急事態対応訓練(年2回)

交通違反撲滅



社用車全車にGPS車載機を搭載し、車両の運行状況を把握する「e-テレマ」を導入しています。急発進・急ハンドル・スピード違反等の危険挙動検知による抑止効果によって、安全運転ならびにコンプライアンス向上に役立っています。SDカード取得率は、目標90%に対して、89%までを実現。あわせて、燃費向上や排気ガス抑制効果が認められています。

SDカード取得率(Safe Driverカード)



災害発生時の対応

大規模事故・災害発生時、停電・断線・輻輳による通信網の障害を想定し、安否確認システムを導入。また、本社及び各支店に衛星携帯電話を配置し、速やかに被害状況の把握と事業継続・復旧ができるよう備えています。さらに、災害対象地域だけでなく全国・全社員を対象として、安否確認サービスを用いた安否情報の確認を行います。

感染症対策

感染症対策としてweb(テレビ)会議の活用、消毒液・体温計・アクリル板の設置および換気を徹底しています。また、可能な事業所では時差出勤およびリモートワークを推奨するとともに、現場では国土交通省の「建設業における新型コロナウイルス感染予防対策ガイドライン」を参照の上、実務にあたっています。



コーポレートガバナンス

基本的な考え方

東亜道路工業グループは、上場会社コーポレートガバナンス原則に則り、公正かつ透明な企業活動を遂行し、ステークホルダー(利害関係者)から信頼される社内体制を整備することが重要であると認識しております。

そのため、迅速かつ的確な経営の意思決定がなされ、それに基づき業務の遂行がなされる経営体制を構築するとともに、適正な監督・監視の機能及び各種経営情報の適時開示により透明性を確保し、総合的にコーポレートガバナンスの充実に努めています。

コーポレートガバナンスの詳細につきましては、年1回、コーポレートガバナンス報告書を当社ホームページに公表しております。

コーポレートガバナンス報告書 <https://www.toadolor.co.jp/ir/>

経営理念・経営戦略等の情報開示

当社は、経営理念を「自らの意思と成長をもって、人々の生活を足元から支える」としております。中長期の企業価値向上の実現のため、2021年より3年間の「新中期経営計画」を策定し、決算説明資料などの開示資料、当社ホームページに公表し説明を行っています。

中期経営計画 <https://www.toadolor.co.jp/ir/>

経営上の意思決定、執行及び監督に係る経営管理組織

当社は、取締役会が経営上の意思決定と執行・監督を行い、監査役会が監査する「監査役設置会社」です。取締役関係の構成は次の通りです。

取締役	員数(定款上の人数)	7名(10名)
	社外取締役※独立役員	2名
	任期	1年
監査役	員数(定款上の員数)	3名(4名)
	社外監査役	2名

取締役会は、各事業部門全体を、適材適所の観点より総合的に検討して選出しております。効率性の高い経営システムを構築するための適正な規模を考慮すれば、取締役は10名以内が適切であると考え、定款に定めております。

当社は全ての取締役、監査役を対象としたアンケートを用いて、取締役会の実効性を分析・評価しております。結果並びに意見はすべて取締役会に報告し、実効性の維持・向上に努めています。

株主との建設的な対話

管理本部担当取締役のもと、広報担当である総務部長、経理部長が窓口となり、事前に両部門で協議し連携して対応しています。また、個別面談以外の株主との建設的な対話を促進するための体制整備・取り組みに関する方針の策定及び開示については今後検討していく予定です。株主からの意見や要望については、担当取締役は報告し前向きに対処しております。また、インサイダー情報の管理には十分注意して従来より対応しております。

公正な事業慣行

内部統制システム

東亜道路工業グループは、変動する企業環境の中で、企業としての社会的責任をはたしつつ、事業を取り巻くリスクを管理し企業価値を高めるため、内部統制の適切な構築、運用に取り組むことが重要と考えております。内部統制とは、企業がその業務を適正かつ効率、効果的に遂行するために統制活動に関わる人々の行動を統制するしくみであると考えております。

推進組織として、内部統制委員会、中央安全衛生委員会、コンプライアンス委員会を設けております。また、CSR経営をより実効性のあるものとするためCSR推進部を設置しております。金融商品取引法に定められた、財務報告にかかる内部統制報告制度の実施のために、J-SOX委員会を設置し、財務報告の信頼性確保の観点から、業務リスクの軽減と業務改善を実施しております。グループ会社の経営については、コンプライアンス体制を含めた経営全般についてのモニタリングを行っており、事業内容の定期的な報告と重要案件については、社内規程に基づき事前に当社と協議を行っております。

行動規範

東亜道路工業グループのすべての役員及び社員が日常の活動においての判断基準や取るべき行動を定めたものが、「東亜道路工業グループ行動規範」です。各種法令及び社内規程等を遵守することはもとより、高い倫理観と良識をもって行動するための規範を定めたものです。この行動規範を実践することで社会的責任を果たし、持続可能な社会の構築に貢献してまいります。また、「行動規範」のポケット版を作成して役員及び社員一人ひとりに配布し、携帯させることで常時目にするように努めています。



持続的な成長を目指して

品質向上のために

品質方針

「コンプライアンスの徹底」「安全第一」「CSR（企業の社会的責任）」の推進を基本方針の前提とします。利害関係者の満足度向上に繋がる、品質の確保・向上及びニーズの対応・社会的信頼を得るために、以下のことをテーマに実践します。

- 1 「顧客の確保及び収益の向上」
受注拡大、シェア率回復により顧客の確保を図り、安定した収益を得ることで当社の社会的信頼を得る
- 2 「働きやすく・働きがいのある職場環境の構築・改善」
一人ひとりが、「誇り」をもてる職場環境を構築・改善し、従業員満足度の向上を目指す
- 3 「グループ連携・部門間連携による総合力強化」
人材交流・教育及び技術の共有化を推進し、グループ全体の人材育成を図り、資質のレベルアップにより、利害関係者の満足度向上を図る
- 4 「技術力を武器に戦う組織の構築」
全部門の情報共有や外部との交流・ノウハウを取り入れて自社独自の工法や製品開発を通じ、顧客のニーズに応える
- 5 以上のことを踏まえた品質マネジメントシステムを整備し、その継続的改善を図る

品質マネジメントシステム

- 外部・内部の課題を、毎年、業務部門別に経営リスクの洗い出しとして実施し、これらの情報を監視し、内部統制委員会でレビューします。内部・外部の課題を把握し、リスクを低減させ、利害関係者の満足度と信頼の向上に努めます。
- 内部監査は、毎年、年1回以上を品質環境システム室及び各部門長により、各支社、事業所、工場、特定現場で確実に実施しており、PDCAサイクルを確実に回し継続的な改善を図っています。
- 品質方針に掲げている「人材育成」の取り組みとして、年度初めに教育訓練計画表を作成し、社員の能力向上の育成に取り組んでいます。
- 顧客満足度の向上を図る為、顧客アンケートを実施し、その結果を事業所で討議し、更なる顧客満足度の向上に繋げています。
- 経営者（トップマネジメント）によるマネジメントレビューは、年1回、昨年度の結果を踏まえ、変更および見直しを実施し、品質マネジメントシステム及びプロセスの有効性の改善を行っています。

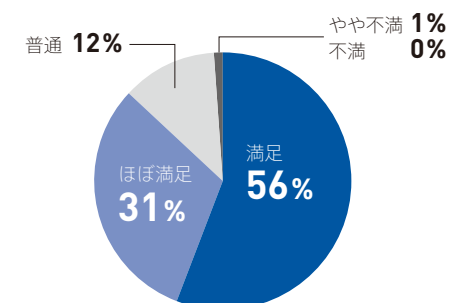
お客様アンケート

お客様アンケートの結果について

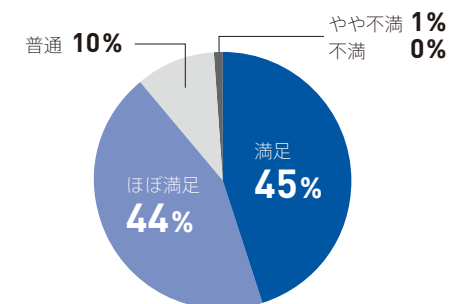
（品質環境システム室）

当社では、各部門において「お客様アンケート」を行い、その結果および工事評価点について社内ネットワーク等で全社に共有し、周知・改善を図っています。また、ご意見やクレームについても顧客満足度調査対応会議等で討議し、対応策を図り、改善・継続あるいは再発防止に取り組んでいます。2020年度の調査結果は下記の通りです。87%以上のお客様から「ほぼ満足」以上の評価をいただいている結果となりました。

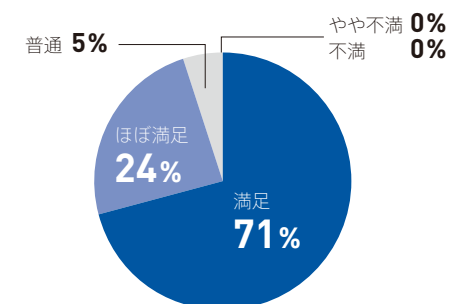
■ 工事部門（37営業所）調査件数1,425件



■ 製品部門（19工場）調査件数608件



■ 技術部門（7センター）調査件数146件



独占禁止法違反防止体制・着実な運用

当社は過去に独占禁止法違反により公正取引委員会から排除措置命令及び課徴金納付命令を受けました。かかる事態を受けて当社では様々な再発防止対策を策定して現在も継続して実施しております。

特に「営業活動予定・実績表」の運用は営業活動を行う全ての社員・役職者はもちろんのこと、同業他社と面会する機会を有する者も対象となり、自身の行動予定は上位者及び法務担当者の承認を受け、さらに実績を報告することを義務付けています。また、電話・FAXにおいても同様として独占禁止法に抵触する言動が行われないようチェック機能を充実させています。

ホットライン（内部通報制度）

社員等からの相談又は通報の適正な処理の仕組みを定め、不正行為等の早期発見と是正を図り、コンプライアンス経営の強化に資することを目的として「内部通報制度」を設け、通報を行った者に対する不利益な取扱いがないよう適切な措置を取っています。本制度の周知徹底とあわせ、弁護士等の専門家による「外部通報窓口」を設置し、「公益通報規程」の整備、改定を行っています。

行動規範（概要）

倫理行動指針

- ① すべての法令およびその精神の遵守
- ② 公正・透明・自由な競争を通じた企業活動
- ③ 自己責任原則の徹底
- ④ 環境保全と技術の進歩発展への努力
- ⑤ 事故、災害の撲滅

企業倫理・技術者倫理の確立

- ① 「倫理行動指針」、社会の基本ルールの遵守
- ② 高い技術者倫理の確立と個人情報保護

行動規範遵守のための措置

- ① 従業員への周知徹底
- ② 従業員等、経営トップの責任
- ③ 原因究明、再発防止、情報公開と説明責任

社会的役割を果たす

- ① 社会資本整備を担う立場の自覚
- ② 人を大切にする産業への努力
- ③ 地球環境改善への取り組み
- ④ 社会貢献活動
- ⑤ コミュニケーション活動と情報開示

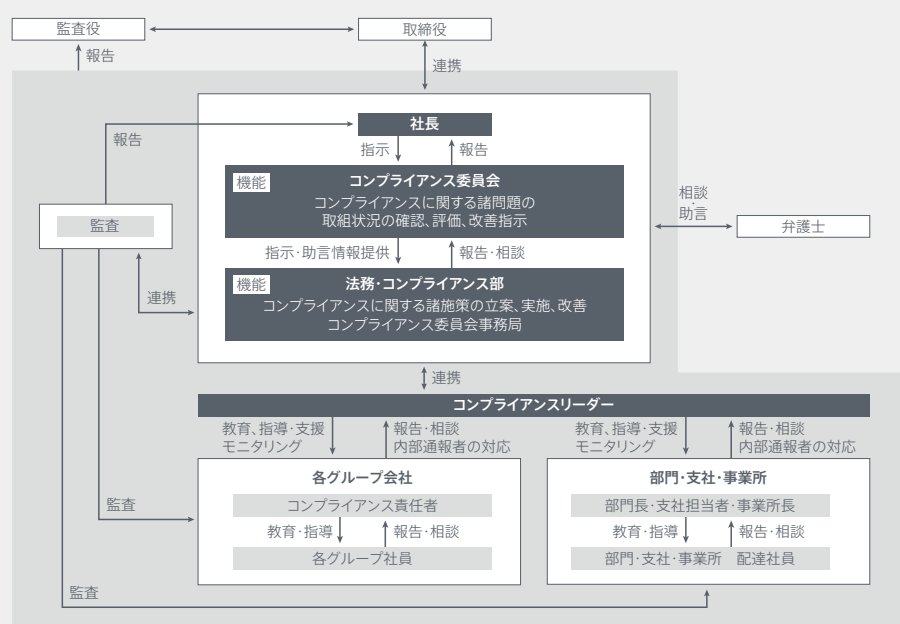
法令遵守の徹底

- ① すべての法令の遵守と違反行為の禁止
- ② 独占禁止法等の遵守
- ③ 建設業法の遵守
- ④ 産業廃棄物処理関連法規の遵守
- ⑤ 政治資金規正法、公職選挙法等の遵守
- ⑥ 反社会的勢力への姿勢
- ⑦ 企業会計の透明化、健全化

リスク管理体制

内部統制委員会、コンプライアンス委員会、及び中央安全衛生委員会とCSR推進部のリスク担当部門が連携し、リスク管理にあたります。また、事業に関連する内外の様々なリスクを適切にコントロールすることを目指して「経営リスクの洗い出し」を実施しています。東亜道路工業グループの役員及び従業員等が自ら関係するリスクの内容及び対策を熟知し、的確な行動が取れるよう、本回答結果を全社員に開示するとともに、事業所におけるコンプライアンス研修会並びに定例会議等の場を通じて浸透を図っています。

コンプライアンス体制



コンプライアンス委員会の役割

- ・推進計画に基づく取組の実施・指示
- ・実施状況の評価、改善の指示
- ・取組に対する助言、情報提供

コンプライアンスリーダーの役割

- ・部門のコンプライアンス体制確立に向けての支援・指導
- ・内部通報者の対応
- ・事業所独自の取組状況等の報告
- ・部門のコンプライアンス実施状況のモニタリングおよび法務・コンプライアンス部への報告

法務・コンプライアンス部の役割

- ・倫理方針、行動規範集、内部規定の文書作成
- ・改定の統括
- ・リスクの洗い出し、対策立案などのコンプライアンス実施計画全般の遂行統括
- ・各種法令を把握し、役職員の必要に応じてアクセスできる状態を維持
- ・コンプライアンス教育の実施
- ・コンプライアンスに関する報告・相談業務
- ・各部門との調整連絡

各部門

- ・コンプライアンス研修（月1回）※社員の意識向上

関連会社のCSR

■ 株式会社富士グリーンテック

森林整備事業

2010年度から11年にわたり、北杜市・甲斐市の管理放置森林の整備（間伐・下刈り、植林）に取り組んでいます。2020年度は57.18ha、これまでの11年間で519.47haもの森林整備を行ってきました。



「どんぐり教室」開催

県内の小学生・幼稚園児を対象に、「どんぐり教室」を開催。御勅使南公園で採取したどんぐりを育て、園内に植林しています。

「森の樹育て」活動

御勅使南公園内のゴミ拾い・分別作業を障がい者施設の寮生に委託発注しています。

障がい者支援

島根県公共土木施設愛護ボランティア「ハートフルしまね」に登録し、毎年2回、国道の美化活動を行っています。

地域清掃活動

社屋周辺のゴミ拾い・側溝清掃（月1回）

■ 株式会社敷島組

地域消防への協力

玖珠町消防団より協力事業所の認定を受けています。

災害協定

自治体などと災害協定を結んでいます。

- 大分県大分土木事務所 大分県建設業協会大分支部、大分県建設業協会玖珠支部
- 大分市 大分県建設業協会大分支部、西日本高速道路（株）大分高速道路事務所 大分県道路舗装協会

小規模集落応援隊

大分県中部振興局地域創生部に協力し、毎年、玖珠地域の集落において道路の清掃及び草刈り、その他の応援業務を行っています。

■ 富士建設株式会社

寄付

- 室蘭市社会福祉協議会に10万円寄付（2010年より/11回目）
- 地域の祭り・大規模イベントの際、カラーコーンによる路上駐車防止に協力



リサイクルの促進

2008年より、廃食油再生燃料化装置を稼働させ、地域の公共施設・飲食店より廃油を回収してバイオディーゼル燃料（BDF）を製造。自社機械等に使用しています。

地域貢献

- 登別市鷺別小学校周辺美化
- 室蘭市「マチピカパートナー」に参加
- 毎年、登別支店付近沿道の花壇に花を植えています。

■ 若葉建設株式会社

社会貢献・地域貢献

- 市内の道路・河川の清掃活動を行っています。（13回／年）
- 宮城県防災指導員 認定者2名
- 仙台まち美化サポート活動
- アレマキャンペーン（クリーンキャンペーン）活動
- 市内の防犯パトロール活動ほか、「宮城県建設業協会」「仙台建設業協会」の社会貢献活動に協力・参加しています。

環境配慮

環境配慮型工法や工事を積極的にPRし、受注活動に取り組んでいます。また、産業廃棄物排出量の削減及びリサイクルの促進、アスファルト合材のロス率の改善、電力使用量の削減など、ISO環境マネジメント活動に則った活動を行っています。

高齢者雇用

65歳以上5名の雇用

■ 株式会社トーア物流

ホームページ作成で障がい者支援

ダウン症の方の社会参加・就職の支援活動を行う企業に、自社ホームページ制作を委託しました。仕事を通して、障がいのある方の社会参加の一助とすることを目的としています。

■ 株式会社YOKOTA

道路の美化活動

島根県公共土木施設愛護ボランティア「ハートフルしまね」に登録し、毎年2回、国道の美化活動を行っています。

ISO26000中核主題との対比表

ISO26000「社会的責任に関する手引き」の7つの中核主題に該当する項目を示しています。

ISO26000の中核主題	課題		2021レポート	ホームページ TOA：企業情報 IR：株主・投資家情報 CSR：CSR情報
組織統治	課題1：組織統治		P1 東亜道路工業の企業理念 P3 トップメッセージ P20 コーポレートガバナンス	TOA：組織図 IR：コーポレートガバナンス報告書
人権	課題1：デューディリジェンス 課題2：人権に関する危機的状況 課題3：加担の回避 課題4：苦情解決	課題5：差別及び社会的弱者 課題6：市民的及び政治的権利 課題7：経済的、社会的及び文化的権利 課題8：労働における基本的原則及び権利	P15 寺田 明日香さん×東亜道路工業 P20 公正な事業慣行	CSR：コンプライアンス(企業倫理) CSR：人権とはたらく環境
労働慣行	課題1：雇用及び雇用関係 課題2：労働条件及び社会的保護 課題3：社会対話	課題4：労働における安全衛生 課題5：職場における人材育成及び訓練	P17 人権・労働慣行 P19 労働における安全衛生	CSR：人権とはたらく環境 CSR：安全の徹底
環境	課題1：汚染の予防 課題2：持続可能な資源の利用 課題3：気候変動の緩和及び気候変動への適応 課題4：環境保護、生物多様性、及び自然生息地の回復		P5 特集01 環境と共生する	TOA：東亜道路工業の歴史 CSR：環境との共生 CSR：コンプライアンス(企業倫理)
公正な事業慣行	課題1：汚職防止 課題2：責任ある政治的関与 課題3：公正な競争	課題4：バリューチェーンにおける社会的責任の推進 課題5：財産権の尊重	P20 公正な事業慣行 P21 コンプライアンス体制	CSR：コンプライアンス(企業倫理)
消費者課題	課題1：公正なマーケティング、事実に基づいた偏りのない情報、及び公正な契約慣行 課題2：消費者の安全衛生の保護 課題3：持続可能な消費	課題4：消費者に対するサービス、支援、並びに苦情及び紛争の解決 課題5：消費者データ保護及びプライバシー 課題6：必要不可欠なサービスへのアクセス 課題7：教育及び意識向上	P22 品質向上のために P22 お客様アンケート	CSR：品質とお客様満足 CSR：コンプライアンス(企業倫理)
コミュニティへの参画及びコミュニティの発展	課題1：コミュニティへの参画 課題2：教育及び文化 課題3：雇用創出及び技能開発 課題4：技術の開発及び技術へのアクセス	課題5：富及び所得の創出 課題6：健康 課題7：社会的投資	P9 特集02 まちの未来づくりへ P13 コミュニティの一員として P25 一人ひとりのCSR	CSR：人権とはたらく環境 CSR：社会との共生

第三者意見



金沢工業大学
SDGs推進センター長
平本 督太郎氏

東亜道路工業グループのCSRの取り組みに対して、本グループCSRレポート2021の記載事項をベースに第三者としての意見を申し上げます。

まず、東亜道路工業グループの3年目のレポートとして、初年度及び2年目の課題に真摯に向き合い、着実に対応をされたことを高く評価いたします。今年度、特に注目すべき点はトップメッセージで森下社長によって2021年5月に策定した新中期経営計画「TOA ROAD Sustainable Plan 2023」におけるSDGs経営の組み込みが言及されたことです。企業経営の根幹にSDGsが組み込まれつつあることから、取り組みが大きく発展してきていると読み取れます。中期経営計画においては、SDGsの達成に貢献する具体的なアクションとして、10個の具体的なアクションが記載されております。こうしたアクションがどのような成果に結びついていくのか、今後のCSRレポートが楽しみです。

また、今年度はこれまでに見られなかった国際的な取り組みとして、国連WFP協会との連携についても報告がなされています。国内事業が成長すればするほどパートナー組織を通じて地球規模課題の解決にも貢献できるような体制を構築したという点から、パートナーシップによって地球規模の視点を企業内に取り込んでいこうとする東亜道路工業グループの前向きな姿勢が示されていると感じました。

今後本レポートの更なる発展に期待いたします。特に、中期経営計画でもカーボンニュートラルに言及されていたことから、脱炭素経営の実現に向けての情報公開を積極的に行っていく必要があるでしょう。特に、気候関連財務情報開示タスクフォース（TCFD）の提言に基づくシナリオ分析、分析に基づく気候変動関連リスクの公開については上場企業にとって必須の取り組みになりつつあります。また、世界においては、2023年には自然関連財務情報開示タスクフォース（TNFD）による自然リスクに関する財務情報開示の枠組みの運用が本格的に開始される予定です。こうした世界共通の情報公開の枠組みに関する動向を踏まえたレポートへと進化を遂げていただければと思います。

さらに、リスクとチャンスの両面に関する情報公開という観点から、既に社内でも共有されている創立100周年を迎える2030年に向けた長期ビジョン（目指す姿）に基づき、チャンス・リスクを内包するマテリアリティの設定を行っていただきたいと思います。そうすることで、本レポートで紹介されている様々な素晴らしい取り組みがどのようなストーリーの上で展開されているのかにより読み取りやすくなるのではないかと思います。

3年目となり更に進歩した東亜道路工業グループのCSRレポートが引き続き発展していくことに期待いたします。

九州支社 熊本工場 / 杉原一成

買い物の際には、
本当に必要なものなのか、
考えてみることにしています。

RSPO認証のエコラベルの
ついた食品やせっけんを
利用しています。

経理部 / 石黒健



サステナブル・コットンを使った
洋服を愛用しています。

情報システム室 / 今津晴太郎



中部支社 管理部 / 野村亜希子

植物に比べ、肉の生産
は多くの資源が使わ
れるので、肉や魚を
控えて植物を積極的
に摂取するようにし
ています。

使わなくなった服、本、家具など
があれば、必要とする方に積極
的に寄付しています。

東亜道路労働組合 / 松本崇

東北支社 宮城工場 / 濱崎義則

食品ロスをなくすために、食べきれ
る量を作るよう心がけています。
また、賞味期限、消費期限が短い商品
から購入しています。

節水のため、できるだけ
入浴は短時間のシャワー
ですませています。

関係事業部 / 藤原健一

再生可能エネルギーを多く
供給している電力会社に
切り替えました。

東北支社

総務部 / 夏井郁美

外出の際には水筒やマイ箸・
スプーン等を持ち歩くこと
にしています。



東北支社 営業部 / 木地谷浩司

「私有地予約制駐車場」の
ボランティア草刈りに参加
しております。



関西支社 奈良出張所 / 中筋昌吾

古い家電製品を省エネ型
に買い替えています。